CFOの北村です。

それでは、2023年3月期の決算についてご説明いたします。2ページをご覧ください。

目次

NOMURA

プレゼンテーションの概要

- エグゼクティブ・サマリー(P2-3)
- 2023年3月期決算の概要(P4)
- セグメント情報(P5)
- 営業部門(P6-8)
- インベストメント・マネジメント部門(P9-10)
- ホールセール部門 (P11-13)
- 金融費用以外の費用(P14)
- 強固な財務基盤を維持(P15)

Financial Supplement

- バランス・シート関連データ(P17)
- バリュー・アット・リスク(P18)
- 連結決算概要(P19)
- 連結損益(P20)
- 連結決算：主な収益の内訳(P21)
- 連結決算：セグメント情報と地域別情報　税前利益(損失)(P22)
- セグメント「その他」(P23)
- 営業部門関連データ(P24-27)
- インベストメント・マネジメント部門関連データ(P28-29)
- ホールセール部門関連データ(P30)
- 人員数(P31)

エグゼクティブ・サマリー(1/2)

NOMURA

2023年3月期通期の決算ハイライト

- **税前利益：1,495億円(前年比34%減)、当期純利益[1]：928億円(前年比35%減)、EPS[2]：29.74円、ROE[3]：3.1%**
- **3セグメントの税前利益は1,064億円(前年比48%減)**
  - 営業部門：残高拡大の取り組みが浸透し、ストック資産純増を伴いながら、ストック収入は前年比で増加。一方、不透明な市場環境を受けて、上半期を中心にフロー収入等が低調
  - インベストメント・マネジメント部門：成功報酬等の減少を、航空機リースを手掛ける野村バブコックアンドブラウンの業績改善で相殺し、事業収益は前年並みを維持。投資損益が減少
  - ホールセール部門：マクロ・プロダクト中心にフィクスト・インカムが増収、エクイティも米国顧客取引に起因する損失が剥落し、増収。インベストメント・バンキングは案件の見送り等でファイナンス収益が低調。円安進行を主要因とする費用増加も、部門業績を圧迫

株主還元

- **一株当たり配当金：**
  - 期末12円、年間17円
- **自己株式の取得を決議**
  資本効率の向上および機動的かつ柔軟な資本政策の実施を可能とし、また株式報酬として交付する株式へ充当するため
  - 取得株式総額：上限3,500万株
  - 取得価額総額：上限200億円
  - 期間：2023年5月16日～2024年3月29日

	2023年3月期通期	2022年3月期通期	前年同期比
収益(金融費用控除後)	1兆3,356億円	1兆3,639億円	-2%
税前利益(損失)	1,495億円	2,266億円	-34%
当期純利益(損失)[1]	928億円	1,430億円	-35%
EPS[2]	29.74円	45.23円	-34%
ROE[3]	3.1%	5.1%	

税前利益(損失)：セグメント情報

	2023年3月期通期	2022年3月期通期	前年同期比
営業部門	335億円	592億円	-43%
インベストメント・マネジメント部門	435億円	715億円	-39%
ホールセール部門	294億円	745億円	-61%
3セグメント合計	1,064億円	2,052億円	-48%
その他	734億円	158億円	4.7x
営業目的で保有する投資持分証券の評価損益	-303億円	56億円	-
税前利益(損失)合計	1,495億円	2,266億円	-34%

2

1. 当社株主に帰属する当期純利益(損失)　2. 希薄化後一株当たり当社株主に帰属する当期純利益(損失)　3. 各期間の当社株主に帰属する当期純利益を年率換算して算出

まず、通期です。
左下にありますように、収益は1兆3,356億円、前年比2%の減収、税前利益は1,495億円、前年比34%の減益となりました。

税前利益の内訳は右下をご覧ください。
下から3行目、「セグメントその他」は734億円と、前年から回復しておりますが、その上の3セグメント合計は1,064億円、前年比48%の減益となりました。

今期は、中央銀行による急激な利上げを受けて、ボラティリティが上昇し、資産価格は低下するなど、不安定な市場環境が続きました。今年3月には、急激な預金流出で米国の大手地銀が破綻し、欧州銀行の経営危機に繋がるなど、マーケットが大きく反応する局面もありました。

このような環境下、営業部門の税前利益は335億円、前年比43%の減益となりました。特に上半期は、不透明な市場環境を受けてお客様の投資マインドが低下し、株式や投資信託を中心に、フロー収入が減少しました。
一方で、こうした環境において、如何にお客様の資産を守り、中長期的な資産成長をサポートすることができるか、ゴールベース・アプローチや、ポートフォリオ運用に基づいた丁寧なコンサルティングを推進した結果、投資一任や保険、ローンを中心にストック資産を積み上げることができ、ストック収入は前年から増加しています。

インベストメント・マネジメント部門でも、安定収益である事業収益は前年並みの水準です。特に今期は、パンデミックで落ち込んでいた航空業界に回復の兆しが出て、航空機リースを手掛ける野村バブコックアンドブラウンの業績が改善しました。
一方で、投資損益が減少し、結果として、部門利益は435億円、39%の減益となっております。

ホールセール部門の税前利益は294億円、61%の減益となりました。グローバル・マーケッツは、マクロ・プロダクト中心にフィクスト・インカムは増収で、エクイティも米国顧客取引に起因する損失がなくなり、収益が回復しました。一方で、インベストメント・バンキングは、株式発行やM&Aを中心に、グローバル・フィープールが4割以上減少するという、難しい環境でした。我々は、相対的に持ち堪えたと思いますが、それでも約2割の減収となりました。

また、部門費用は約1,100億円増加していますが、その8割以上が円安進行による影響、残る2割弱が主にインフレによる固定費の上昇でした。こうしたマクロ要因による部門費用の増加も、利益を押し下げる要因となりました。

この結果、当期純利益は928億円、前年比35%の減益、EPSは29円74銭、ROEは3.1%となりました。

尚、3月末を基準とする配当金は、一株当たり12円とさせて頂きます。その結果、年間の配当金は17円となります。

また今まで、半期毎の連結業績を基準として、連結配当性向30%を重要な指標の一つとしておりましたが、本日、この配当性向を「40%以上」に引き上げることを、決議しました。自己株式取得を含めて総還元性向50%以上という還元方針に、変更はありません。

また本日、資本効率の向上および機動的かつ柔軟な資本政策の実施を可能とし、また、株式報酬として交付する株式へ充当するため、自己株式の取得を決議しております。株数の上限を3,500万株、金額の上限を200億円、期間は5月16日から2024年3月29日といたします。
続いて、第4四半期の決算についてご説明します。3ページをご覧ください。

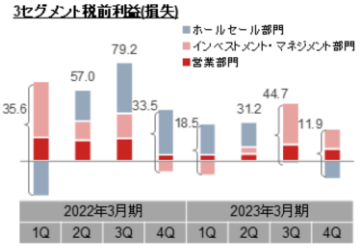
エグゼクティブ・サマリー(2/2)

NOMURA

2023年3月期第4四半期の決算ハイライト

- **収益：3,249億円(前四半期比17%減)、税前利益：227億円(同73%減)、当期純利益[1]：74億円(同89%減)、EPS[2]：2.34円、ROE[3]：0.9%**
- **3セグメント税前利益は119億円(前四半期比73%減)**
  - 営業部門
    - ✓ 不透明な市場環境が続く中、複数の売出・募集案件をきっかけとしたお客様との対話が進展 ～フロービジネス顧客数が増加
    - ✓ 一方、保険契約や債券等の取引減少を受けて、フロー収入等は前四半期比で減収
  - インベストメント・マネジメント部門
    - ✓ アセットマネジメント・ビジネスは堅調 ～コア投信や銀行等チャネル、オルタナティブ運用等で資金流入が継続
    - ✓ 投資損益は高水準だった前四半期からは減少も、部門収益に寄与
  - ホールセール部門
    - ✓ フィクスト・インカムは年初好調な滑り出しも、3月のボラティリティ急上昇局面で減速
    - ✓ エクイティ、インベストメント・バンキングも前四半期比で減収となり、部門業績が悪化
- **セグメントその他の税前利益は157億円(前四半期比74%減)**
  - 前四半期に計上した野村総合研究所株式の売却益が剥落、営業目的で保有する投資持分証券の売却益も減少

税前利益(損失)、当期純利益(損失)[1]の推移



1. 当社株主に帰属する当期純利益(損失)
2. 希薄化後一株当たり当社株主に帰属する当期純利益(損失)
3. 各期間の当社株主に帰属する当期純利益を年率換算して算出

3

いまから申し上げるパーセンテージは、すべて第3四半期との比較となります。

まず全社ですが、収益は3,249億円、17%の減収、税前利益は227億円、73%の減益、当期純利益は74億円、89%の減益、EPSは2円34銭、ROEは0.9%と、厳しい決算になりました。

右下にありますように、主要3セグメントの税前利益は119億円、特にホールセール部門が苦戦し、73%の減益となりました。

また、セグメントその他の税前利益は157億円、74%の減益。第3四半期に含まれていた野村総合研究所の売却益がなくなり、政策保有株の売却益も減少したことが主な要因です。

それでは、各ビジネスの第4四半期の状況について、ご説明いたします。
6ページをご覧ください。

2023年3月期決算の概要

NOMURA

決算ハイライト

(10億円、EPS及びROEを除く)

	22年3月期	2023年3月期						22年3月期	23年3月期	
	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	前四半期比	前年同期比	通期	通期	前年同期比
収益合計(金融費用控除後)	340.8	299.0	318.0	393.7	324.9	-17%	-5%	1,363.9	1,335.6	-2%
金融費用以外の費用	291.3	287.3	286.5	310.1	302.2	-3%	4%	1,137.3	1,186.1	4%
税前利益(損失)	49.5	11.7	31.5	83.6	22.7	-73%	-54%	226.6	149.5	-34%
当期純利益(損失)[1]	31.0	1.7	16.8	66.9	7.4	-89%	-76%	143.0	92.8	-35%
EPS[2]	9.89円	0.52円	5.41円	21.51円	2.34円	-89%	-76%	45.23円	29.74円	-34%
ROE[3]	4.3%	0.2%	2.2%	8.5%	0.9%			5.1%	3.1%	

1. 当社株主に帰属する当期純利益(損失)
2. 希薄化後一株当たり当社株主に帰属する当期純利益(損失)
3. 各期間の当社株主に帰属する当期純利益を年率換算して算出

セグメント情報

NOMURA

収益合計(金融費用控除後)、税前利益(損失)

(10億円)

		22年3月期	2023年3月期						22年3月期	23年3月期	
		4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	前四半期比	前年同期比	通期	通期	前年同期比
収益	営業部門	70.5	71.4	72.5	81.0	75.3	-7%	7%	328.0	300.2	-8%
	インベストメント・マネジメント部門	10.1	7.6	26.2	57.0	37.8	-34%	3.8x	148.0	128.6	-13%
	ホールセール部門	194.9	199.0	205.5	189.1	178.8	-5%	-8%	703.1	772.4	10%
	3セグメント合計	275.4	278.0	304.2	327.0	292.0	-11%	6%	1,179.0	1,201.1	2%
	その他(※)	64.2	23.9	15.6	87.3	37.9	-57%	-41%	179.2	164.7	-8%
	営業目的で保有する投資持分証券の評価損益	1.2	-2.8	-1.8	-20.7	-4.9	-	-	5.6	-30.3	-
	収益合計(金融費用控除後)	340.8	299.0	318.0	393.7	324.9	-17%	-5%	1,363.9	1,335.6	-2%
税前利益(損失)	営業部門	5.2	4.9	5.5	13.3	9.8	-26%	89%	59.2	33.5	-43%
	インベストメント・マネジメント部門	-8.8	-11.7	5.6	33.3	16.4	-51%	-	71.5	43.5	-39%
	ホールセール部門	37.0	25.3	20.2	-1.9	-14.2	-	-	74.5	29.4	-61%
	3セグメント合計	33.5	18.5	31.2	44.7	11.9	-73%	-64%	205.2	106.4	-48%
	その他(※)	14.9	-3.9	2.1	59.5	15.7	-74%	5%	15.7	73.4	4.7x
	営業目的で保有する投資持分証券の評価損益	1.2	-2.8	-1.8	-20.7	-4.9	-	-	5.6	-30.3	-
	税前利益(損失) 合計	49.5	11.7	31.5	83.6	22.7	-73%	-54%	226.6	149.5	-34%

(※) 第4四半期の「その他」に関する補足

- 経済的ヘッジ取引に関連する利益(63億円)
- デリバティブに関する自社およびカウンター・パーティのクレジット・スプレッドの変化に起因する利益(16億円)

営業部門

NOMURA

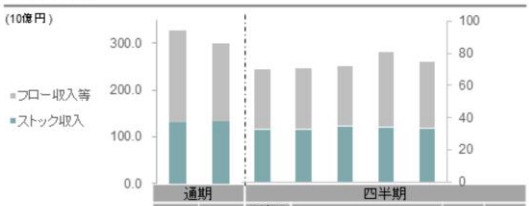
収益合計(金融費用控除後)、税前利益/損失

(10億円)

	通期		四半期						
	22年3月期	23年3月期	22年3月期	2023年3月期				前四半期比	前年同期比
			4Q	1Q	2Q	3Q	4Q		
収益合計(金融費用控除後)	328.0	**300.2**	70.5	71.4	72.5	81.0	**75.3**	-7%	7%
金融費用以外の費用	268.7	**266.7**	65.3	66.5	67.0	67.8	**65.5**	-3%	0.3%
税前利益/損失	59.2	**33.5**	5.2	4.9	5.5	13.3	**9.8**	-26%	89%

収益の内訳

(10億円)



	通期		四半期						
	22年3月期	23年3月期	22年3月期	2023年3月期				前四半期比	前年同期比
			4Q	1Q	2Q	3Q	4Q		
ストック収入[1]	132.5	**135.3**	32.9	32.5	34.9	34.2	**33.7**	-1%	3%
フロー収入等[2]	195.5	**164.9**	37.6	38.9	37.6	46.8	**41.6**	-11%	11%
収益合計(金融費用控除後)	328.0	**300.2**	70.5	71.4	72.5	81.0	**75.3**	-7%	7%

決算のポイント

<通期>

- 収益: 3,002億円 (前年比8%減)
- 税前利益: 335億円 (前年比43%減)
  - 不透明な市場環境下でお客様の様子見姿勢が継続、上半期を中心にフロー収入等が低調
  - 資産拡大の取り組みが奏功し、ストック収入は拡大。コスト・コントロールの継続もあり、ストック収入費用カバー率は51%に

<第4四半期>

- 収益: 753億円 (前四半期比7%減、前年同期比7%増)
- 税前利益: 98億円 (前四半期比26%減、前年同期比89%増)

ストック収入

- ストック資産は、純増を伴って18.7兆円まで回復
- 一方でストック収入は前四半期比で減少 ～信託報酬の対象日数が少ないことや、保険残高フィーの減少が要因
- レベルフィー対象資産は、3月末に3,500億円を突破

フロー収入等

- 保険契約や債券等の取引減少を受けて、前四半期比で減収

■資産拡大項目	2023年3月期 3Q	2023年3月期 4Q
- 投信純増[3]	+414億円	+366億円
- 投資一任純増[3]	+665億円	-121億円
- 現金本券差引[4]	+1,219億円	+2,003億円
- ストック収入費用カバー率[5]	50%	52%

1. 預貸から発生する収入や間接的に発生する収入(投資信託、投資一任、保険、ローン、レベルフィー等)。2023年3月期4Qにストック収入の範囲を見直したことを受け、2023年3月期3Q以前の数字を新しい定義に合わせて遡及修正
2. 取引に付随して発生する収入(ブローカレッジ収入、コンサルティング関連収入)、ローン関連以外の金融収益等
3. リテールチャネル、国内のウェルス・マネジメント・グループが対象
4. 地域金融機関を除く、現金および本券の受入から拠出を差引。2023年3月期3Qの数字を修正
5. ストック収入を金融費用以外の費用で除したもの

6

営業部門の収益は753億円、7%の減収、税前利益は98億円、26%の減益となりました。

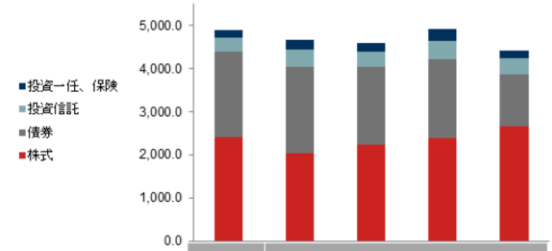
左下にありますように、ストック収入は337億円と、ほぼ前期並みの水準を維持できています。コスト抑制にも努めた結果、ストック収入費用カバー率は52%に上昇しました。一方で、フロー収入は保険契約や債券などの取引が減少し、11%低下しました。

プロダクト別の募集買付状況について、7ページでご説明します。

営業部門：募集商品を中心に総募集買付は堅調

NOMURA

総募集買付額[1]



(10億円)	2022年3月期	2023年3月期			
	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
株式	2,415.3	2,047.9	2,228.8	2,383.5	**2,669.6**
債券	1,971.9	1,987.4	1,811.8	1,835.6	**1,187.0**
投資信託	331.1	411.1	345.6	430.8	**382.1**
投資一任	132.9	170.6	140.3	136.8	**82.8**
保険	40.9	61.5	76.2	133.6	**87.2**
総募集買付額[1]	4,892.1	4,678.5	4,602.7	4,920.2	**4,408.7**

総募集買付額[1]は前四半期比10%減

- 株式：前四半期比12%増
  - 募集・売出案件の貢献により、株式募集買付額が大きく増加（プライマリー株式募集額[2]：3,638億円、前四半期比3.6倍）
- 債券販売額：前四半期比35%減
  - 国内債券は、個人向け国債の販売額が増加する一方、法人顧客の短期運用目的の買付が減少
  - プライマリー案件の貢献もあり、外債販売は増加
- 投資信託：前四半期比11%減
  - 日本株投信を中心に資金が流入するも、期後半の市場環境の悪化を受けて買付額が減少
- 投資一任契約：前四半期比39%減
  - SMA、ファンドラップともに契約額が前四半期から減少
- 保険販売額：前四半期比35%減
  - 販売額が大幅に増加した前四半期から減少も、高水準を維持

投信の販売上位ファンド(2023年1月～3月)

1. （早期償還条項付）リオープン・ジャパン2301
2. フィデリティ・世界割安成長株投信
3. ノムラ・ジャパン・オープン

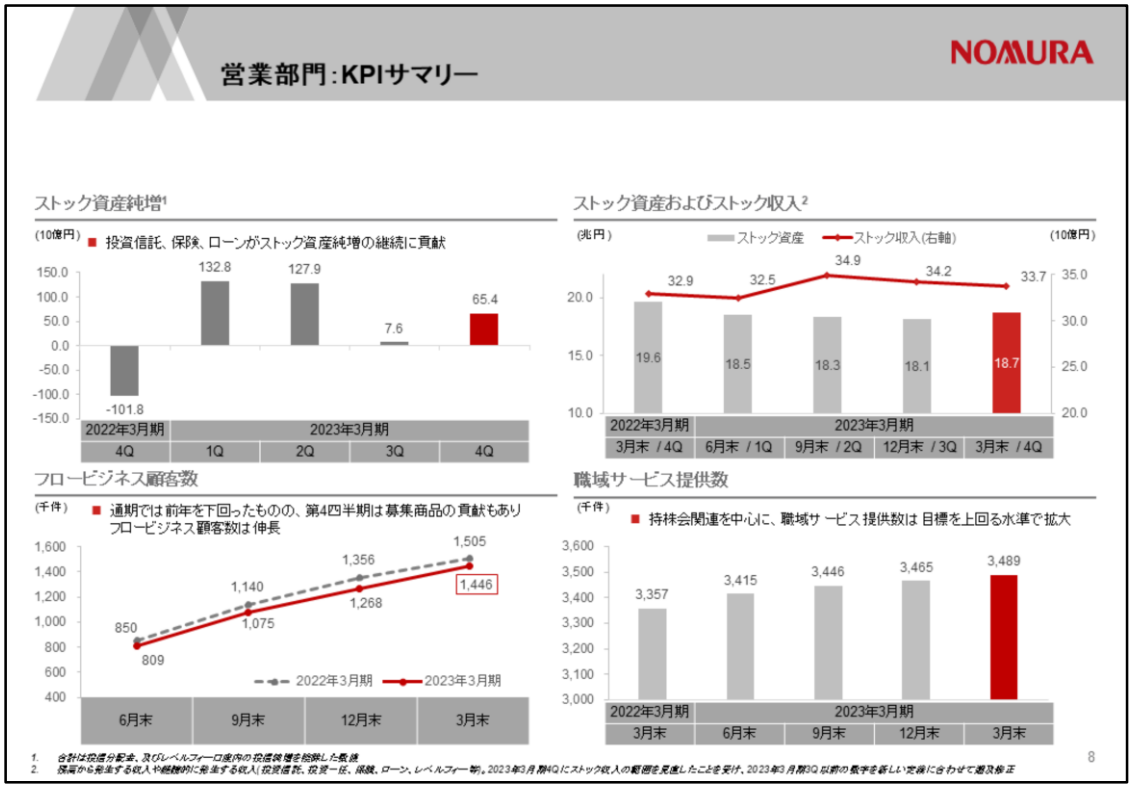
1. 2023年3月期1Qより総募集買付額の範囲を、従来のリテール・チャネルのみから、リテール・チャネル、国内のウェルス・マネジメント・グループ、ネット&コール、仲介に変更。それに伴い、2022年3月期の数値を新定義に置き換えて表示
2. リテール・チャネル、国内のウェルス・マネジメント・グループ、ネット&コール、ほっとダイレクトが対象

7

今期の総募集買付は、左側の棒グラフにありますように、約4兆4,000億円でした。

株式は、ゆうちょ銀行の売出案件など、プライマリー案件が大きく寄与し、前期比12%増の約2兆7,000億円となりました。債券は35%減少していますが、これは法人のお客様による短期運用目的の買付が減ったことが要因で、個人向け国債や外債の販売額は増えています。
また、投資信託は3月のマーケットの混乱を受けて買付額が減少しておりますが、1月に新規設定した、外需やインバウンドに着目した「リオープン・ジャパン」は、1,000億円を超えるディマンドが集まり、日本株投信を中心に資金が流入しています。

続きまして、8ページにお進みください。KPIの進捗です。



左上のストック資産純増は654億円、投信や保険、ローンなどが貢献しています。
左下にあるフロービジネス顧客数は、4月から1回以上、取引をして下さったお客様の数です。3月末で145万件と、今期は1年前をやや下回っていますが、第4四半期は、先ほど申し上げた募集や売出案件を起点としたお客様との会話が活発になり、新たにお取引いただくお客様の数を増やすことができました。

続いて、インベストメント・マネジメント部門です。 9ページをご覧ください。

インベストメント・マネジメント部門

NOMURA

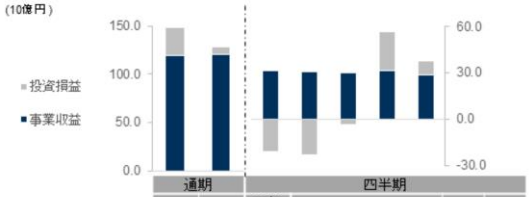
収益合計(金融費用控除後)、税前利益/損失

(10億円)

	通期		四半期						
	22年3月期	23年3月期	22年3月期 4Q	2023年3月期 1Q	2Q	3Q	4Q	前四半期比	前年同期比
収益合計(金融費用控除後)	148.0	**128.6**	10.1	7.6	26.2	57.0	**37.8**	-34%	3.8x
金融費用以外の費用	76.5	**85.1**	18.9	19.3	20.6	23.7	**21.5**	-9%	14%
税前利益/損失	71.5	**43.5**	-8.8	-11.7	5.6	33.3	**16.4**	-51%	-

収益の内訳

(10億円)



	通期		四半期						
	22年3月期	23年3月期	22年3月期 4Q	2023年3月期 1Q	2Q	3Q	4Q	前四半期比	前年同期比
事業収益[1]	119.9	**120.7**	31.1	30.7	29.9	31.4	**28.7**	-8%	-8%
投資損益[2]	28.1	**7.9**	-21.1	-23.1	-3.7	25.6	**9.1**	-64%	-
収益合計(金融費用控除後)	148.0	**128.6**	10.1	7.6	26.2	57.0	**37.8**	-34%	3.8x

決算のポイント

<通期>

- 収益: 1,286億円 (前年比13%減)
- 税前利益: 435億円 (前年比39%減)
  - 事業収益は前年並みを維持 ～成功報酬等の減少を、航空機リースを手掛ける野村バブコックアンドブラウンの業績改善で相殺
  - 投資損益が減少 ～アメリカン・センチュリー・インベストメンツ(以下ACI)関連損益が減少したこと、および、前年は野村キャピタル・パートナーズ投資先企業の上場が大きく利益に貢献

<第4四半期>

- 収益: 378億円 (前四半期比34%減、前年同期比3.8倍)
- 税前利益:164億円 (前四半期比51%減)

事業収益[1]

- 収益: 287億円 (前四半期比8%減、前年同期比8%減)
  - アセットマネジメント・ビジネスは堅調 ～運用資産残高が拡大し、前四半期並みの運用報酬を達成
  - 一方、野村バブコックアンドブラウンは、航空機リースの案件組成が重なった前四半期比で減収

投資損益[2]

- 収益: 91億円 (前四半期比64%減)
  - ACI関連損益および野村キャピタル・パートナーズ投資先企業の評価益が収益に貢献するも、前四半期比では減収

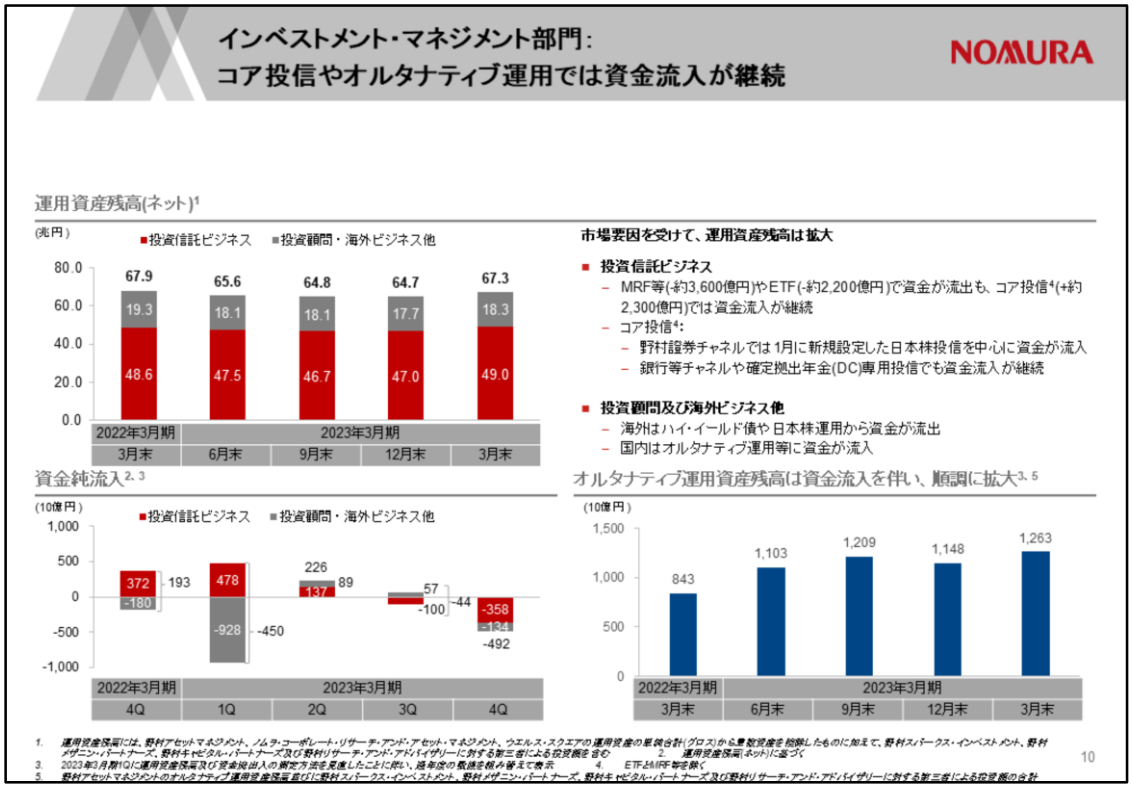
1. 投資損益を除き、アセット・マネジメント事業(ACI関連損益を除く)及び野村バブコックアンドブラウンの航空機リース関連事業の収益及びにプライベート・エクイティ等の投資事業から得られるGP報酬報酬を含む収益で構成
2. ACI関連損益、プライベート・エクイティおよびクレジット等の投資事業及びにあらゆるフィナンシャル・グループの投資損益を含む投資に起因する収益(公正価値の変動、資本調達コスト、運用報酬、配当金を含む)で構成

9

収益は378億円、34%の減収、税前利益は164億円、51%の減益となりました。
左下の事業収益は8%減少していますが、これは、航空業界の回復に伴って前期は航空機リースの案件組成が通常より多かったことが背景にあります。アセットマネジメント・ビジネス自体は堅調で、運用資産残高が拡大し、運用報酬も前期並みの水準を確保しています。

投資損益は91億円、アメリカン・センチュリー・インベストメンツや、プライベート・エクイティ投資を行っている野村キャピタル・パートナーズでは今期も評価益を計上していますが、貢献額の大きかった前期からは減収となっています。

10ページをご覧ください。



左上にありますように、3月末の運用資産残高は67.3兆円と、前期から回復しました。

左下の資金純流入は、投信ビジネスで約3,600億円のマイナス、主に個人の待機資金であるMRFでほぼ同額の流出となっており、MRFから新たな投資に向かったことが背景にあると考えています。
ETFも2,200億円程度の流出ですが、コア投信は2,300億円程度の流入となっており、先ほど申し上げた「リオープン・ジャパン」を中心に野村證券チャネルが貢献、また銀行窓販やDC専用投信でも継続的に資金が入っています。

右下にありますように、オルタナティブ運用資産残高は12月末から1,100億円程度、増加しました。うち約700億円が資金流入で、インフラ・ファンドや不動産ファンド等に資金が向かっています。

次にホールセール部門です。11ページをご覧ください。

ホールセール部門

NOMURA

収益合計(金融費用控除後)、税前利益/損失[2]

(10億円)	通期		四半期						
	22年3月期	23年3月期	22年3月期	2023年3月期				前四半期比	前年同期比
			4Q	1Q	2Q	3Q	4Q		
収益合計(金融費用控除後)	703.1	**772.4**	194.9	199.0	205.5	189.1	**178.8**	-5%	-8%
金融費用以外の費用	628.6	**743.0**	157.9	173.7	185.3	190.9	**193.1**	1%	22%
税前利益/損失	74.5	**29.4**	37.0	25.3	20.2	-1.9	**-14.2**	-	-
経費率	*89%*	***96%***	*81%*	*87%*	*90%*	*101%*	***108%***		
収益/調整リスク・アセット[1]	*7.0%*	***6.5%***	*7.9%*	*7.3%*	*7.1%*	*5.9%*	***5.8%***		

決算のポイント

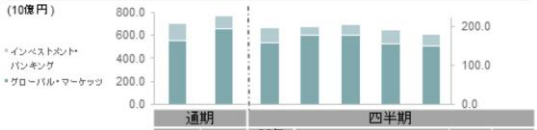
<通期>

- 収益：7,724億円(前年比10%増)、税前利益：294億円(前年比61%減)
  - マクロ・プロダクト中心にフィクスト・インカムが増収、エクイティも米国顧客取引に起因する損失が剥落
  - 円安の進行やインフレによる固定費の上昇などで部門コストは増加

<第4四半期>

- 収益：1,788億円(前四半期比5%減、前年同期比8%減)、税前損失：142億円
  - フィクスト・インカムは日本・アジア中心にクレジットが減収。エクイティは米国顧客取引に起因する収益があった前四半期から減収も、米州中心にエクイティ・プロダクトは増収
  - インベストメント・バンキングは、案件の延期などで米州・欧州中心にアドバイザリー収益が減少、ECM/DCMなどファイナンス収益は増加

ビジネスライン別の収益



	通期		四半期						
	22年3月期	23年3月期	22年3月期	2023年3月期				前四半期比	前年同期比
			4Q	1Q	2Q	3Q	4Q		
グローバル・マーケッツ	556.4	**656.3**	158.2	175.3	177.5	154.3	**149.3**	-3%	-6%
インベストメント・バンキング	146.6	**116.1**	36.7	23.7	28.0	34.8	**29.6**	-15%	-20%
収益合計(金融費用控除後)	703.1	**772.4**	194.9	199.0	205.5	189.1	**178.8**	-5%	-8%

地域別収益

1. ホールセール部門収益合計(金融費用控除後、年換算)を、ホールセール部門が使用する調整リスク・アセット(各会計期間の日次平均)で除したもの。調整リスク・アセット(各会計期間の日次平均)は米国会計原則に基づかない指標で、(1)バーゼル3規制のリスク・アセットと、(2)バーゼル3規制の資本調整項目を当社が内部で設定する最低資本比率で除して算出したリスク・アセット相当額の合計
2. 米国顧客取引に起因して、 2022年3月期1Q に554億円(うち561億円はトレーディング損失、93億円は貸倒引当金)の損失を計上。また、損失に関する債権の一部について回収可能額が合理的に見積もれるようになった為、2022年3月期3Qに32億円(うち26億円はトレーディング収益、5億円は貸倒引当金の戻入)、2022年3月期4Qに115億円(うち95億円はトレーディング収益、20億円は貸倒引当金の戻入)、2023年3月期3Qに111億円(うち91億円はトレーディング収益、19億円は貸倒引当金の戻入)の利益を計上

11

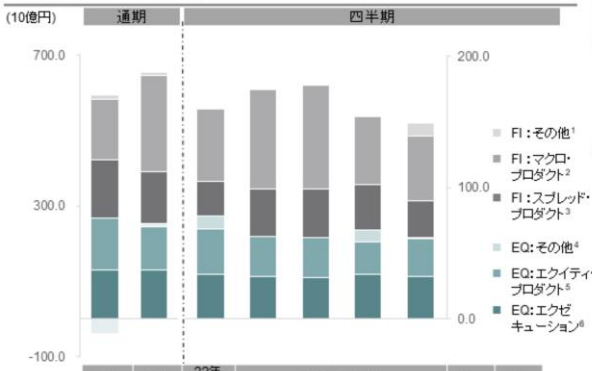
収益は1,788億円、5%の減収となりました。
フィクスト・インカムは若干の増収でしたが、エクイティとインベストメント・バンキングは、減収となっております。また部門費用は、支払手数料などのビジネスに関する支出や、ITシステムの除却で前期から若干増加し、結果としてホールセール部門は142億円の税前損失でした。

では、ビジネスラインごとに、説明します。12ページをご覧ください。

ホールセール部門:グローバル・マーケッツ

NOMURA

収益合計(金融費用控除後)



	22年3月期	23年3月期	22年3月期 4Q	2023年3月期 1Q	2Q	3Q	4Q	前四半期比	前年同期比
フィクスト・インカム(FI)	326.9	**402.4**	80.1	112.6	115.6	86.7	**87.5**	1%	9%
エクイティ(EQ)	229.5	**253.9**	78.1	62.6	61.9	67.5	**61.8**	-8%	-21%
グローバル・マーケッツ	556.4	**656.3**	158.2	175.3	177.5	154.3	**149.3**	-3%	-6%

決算のポイント

<通期>
- 収益:6,563億円 (前年比18%増)
  - フィクスト・インカムは、マクロ・プロダクトの貢献により、23%の増収
  - エクイティはデリバティブが減速も、米国顧客取引に起因する損失が剥落し、11%の増収

<第4四半期>
- 収益:1,493億円 (前四半期比3%減、前年同期比6%減)
  - フィクスト・インカムは日本・アジア中心にクレジットが減収、証券化商品が増収
  - エクイティは米州中心にエクイティ・プロダクトが増収、前四半期に計上した米国顧客取引に起因する収益が剥落した影響を一部相殺

フィクスト・インカム
- 収益:875億円 (前四半期比1%増、前年同期比9%増)
  - マクロ・プロダクト:金利は、日本中心に年初好調な滑り出しも、3月のボラティリティ急上昇により、減速。為替/エマージングはアジアが増収となり、欧州・日本の減収を相殺
  - スプレッド・プロダクト:顧客アクティビティの低下やスプレッドのワイドニングを受けて、日本・アジア中心にクレジットは減収。証券化商品は、アクティビティ回復を受け、増収

エクイティ
- 収益:618億円 (前四半期比8%減、前年同期比21%減)
  - エクイティ・プロダクト:顧客アクティビティの増加により、米州、日本が増収、アジアが減収
  - エグゼキューション:期の終盤のアクティビティ回復を受け、欧州が増収も、他地域が減収

1. インターナショナル・ウェルス・マネジメント、インベストメント・バンキングとの共管ビジネス、その他各デスクに帰属しない損益　2. 金利プロダクト、為替/エマージング　3. クレジット、証券化商品
4. インベストメント・バンキングとの共管ビジネス、米国顧客取引に起因する損益(米国顧客取引に起因して、2022年3月期1Qに561億円のトレーディング損失を計上。また、米国顧客取引に起因するトレーディング損失に関する債権の一部について回収可能額が合理的に見積もられるようになった後、2022年3月期3Qに26億円、2022年3月期4Qに95億円、2023年3月期3Qに91億円の利益をトレーディング損益として計上)、その他各デスクに帰属しない損益
5. キャッシュおよびデリバティブのトレーディング、プライム・サービス　6. 株式執行ビジネス

12

まず、グローバル・マーケッツです。

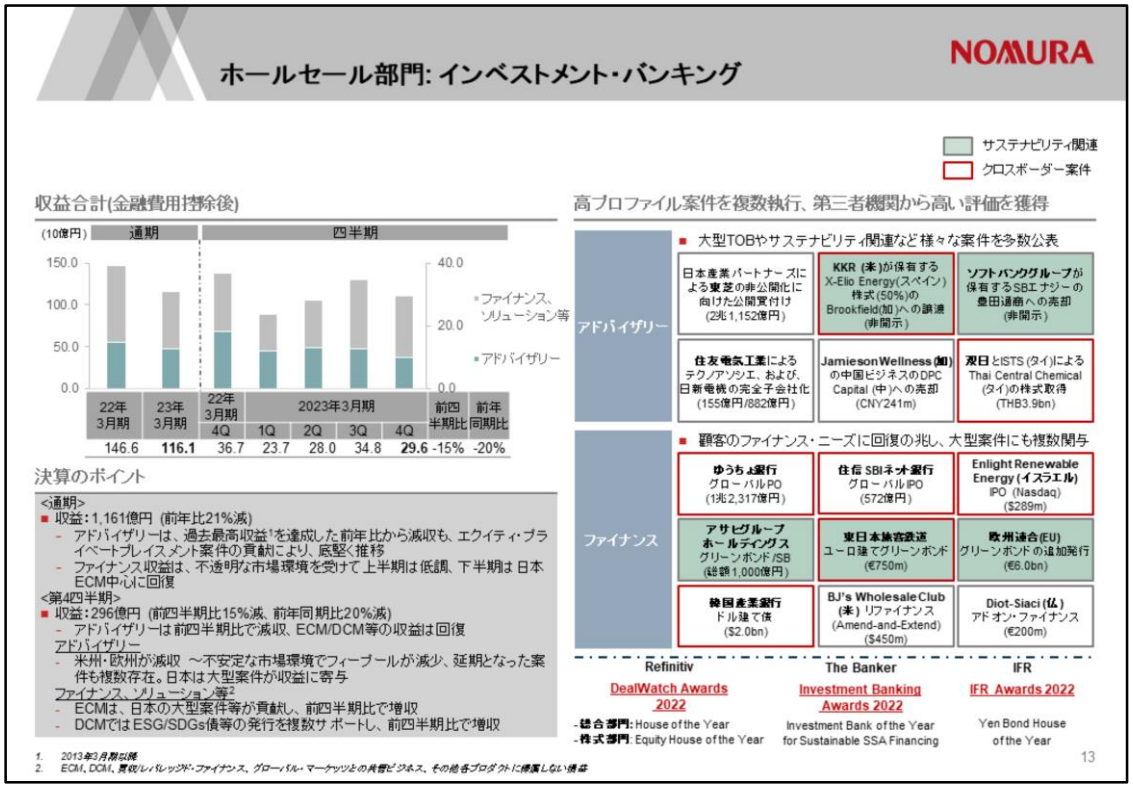
収益は1,493億円、3%の減収。
うち、フィクスト・インカムは875億円と1%の増収となりました。

金利プロダクトは、日本を中心に、1月は好調なスタートを切りましたが、3月のボラティリティが急上昇する局面で減速しました。為替/エマージングはアジアが増収となり、欧州や日本の減速を相殺しています。

スプレッド・プロダクトは、日本・アジアを中心にクレジットが減収、一方で証券化商品は増収となりました。

エクイティの収益は618億円、前期に、米国顧客取引に起因する収益91億円を計上した反動減で、8%の減収です。この影響を除くと増収で、顧客アクティビティの回復を受けて米州や日本のエクイティ・プロダクトが貢献しています。

続いてインベストメント・バンキングです。13ページをご覧ください。



収益は296億円、15%の減収となりました。
アドバイザリーは、不透明な市場環境でフィープールが減少、延期となった案件もあって、米州・欧州で収益が減少しました。日本では、日本産業パートナーズによる東芝の非公開化に向けた公開買付けや、住友電気工業によるテクノアソシエと日新電機の完全子会社化など、大型の案件が収益に寄与し、増収となっております。

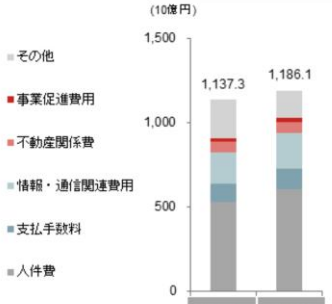
ファイナンス収益は増収です。ECMビジネスは、ゆうちょ銀行のグローバルPOや、住信SBIネット銀行のグローバルIPOなど、大型案件を複数サポートし、増収、DCMビジネスでも、欧州連合の60億ユーロのグリーンボンドでジョイント・ブックランナーを務めるなど、引き続き、サステナビリティ案件を複数サポートできています。

次にコストについてご説明します。14ページをご覧ください。

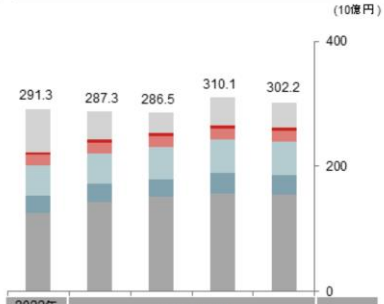
金融費用以外の費用

NOMURA

通期



四半期



	2022年3月期	2023年3月期	2022年3月期 4Q	2023年3月期 1Q	2023年3月期 2Q	2023年3月期 3Q	2023年3月期 4Q	前四半期比
人件費	529.5	**605.8**	125.6	143.1	150.9	156.3	**155.6**	**-0.5%**
支払手数料	105.2	**119.2**	26.9	28.5	28.2	32.3	**30.3**	**-6.1%**
情報・通信関連費用	184.3	**209.5**	48.5	49.7	52.1	54.0	**53.7**	**-0.6%**
不動産関係費	69.7	**66.9**	17.7	16.4	16.6	17.2	**16.7**	**-2.9%**
事業促進費用	15.6	**22.6**	4.0	4.7	5.4	6.3	**6.3**	**-0.6%**
その他	232.9	**162.0**	68.6	45.0	33.3	44.0	**39.8**	**-9.7%**
合計	1,137.3	**1,186.1**	291.3	287.3	286.5	310.1	**302.2**	**-2.5%**

決算のポイント

<通期>

- 金融費用以外の費用：1兆1,861億円
  ～円安進行を主要因として前年比で4%増加。為替影響を除くと、前年比で減少
  - 人件費(前年比14%増)
    - ✓ 円安進行に加え、インフレによる固定費の増加や基盤強化が背景
  - その他費用(前年比30%減)
    - ✓ 過去の取引事案に関する法的費用が減少

<第4四半期>

- 金融費用以外の費用：3,022億円
  (前四半期比3%減)
  - 人件費(前四半期比0.5%減)
    - ✓ 年度末の賞与調整による増加を、円高進行や退職関連費用の減少等で相殺
  - 支払手数料(前四半期比6%減)
    - ✓ 取引量の低下に加え、航空機リースの組成案件に絡む支払手数料が減少

14

全社コストは3,022億円、3%減少しました。
人件費は、年度末の賞与調整による増加を、退職関連費用の減少や、円高進行等で吸収し、前期並みの水準でした。また、支払手数料は、取引量の低下や、先ほど、インベストメント・マネジメント部門で申し上げた航空機リースの組成に絡む費用が減少し、6%の減少となっています。

最後に、財務基盤です。15ページをご覧ください。

強固な財務基盤を維持

NOMURA

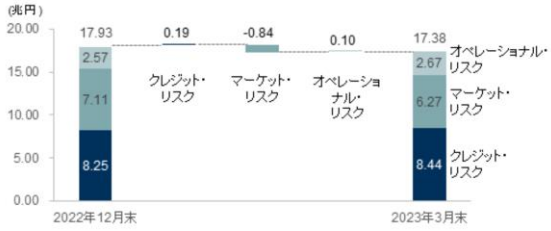
バランス・シート関連指標と連結総自己資本規制比率

	2022年3月末	2022年12月末	2023年3月末
■ 資産合計	43.4兆円	49.2兆円	47.8兆円
■ 当社株主資本	2.9兆円	3.1兆円	3.1兆円
■ グロス・レバレッジ	14.9倍	15.7倍	15.2倍
調整後レバレッジ[1]	9.1倍	9.3倍	9.4倍
■ レベル3資産[2] (デリバティブ負債相殺後)	0.8兆円	1.0兆円	0.9兆円
■ 流動性ポートフォリオ	7.1兆円	7.6兆円	7.6兆円

(10億円) バーゼル3ベース	2022年3月末	2022年12月末	2023年3月末[2]
Tier 1資本	3,103	3,248	3,205
Tier 2資本	0.4	0.4	0.4
総自己資本の額	3,103	3,248	3,205
リスク・アセット	15,830	17,934	17,380
連結Tier 1 比率	19.6%	18.1%	18.4%
連結普通株式等Tier 1比率[3]	17.2%	16.0%	16.2%
連結総自己資本規制比率	19.6%	18.1%	18.4%
連結レバレッジ比率[4]	5.98%	5.53%	5.65%
適格流動資産(HQLA)[5]	6.0兆円	5.9兆円	6.5兆円
連結流動性カバレッジ比率(LCR)[5]	241.7%	181.1%	203.8%
TLAC比率(リスクアセット・ベース)	30.7%	29.6%	31.6%
TLAC比率(総エクスポージャーベース)	10.30%	10.01%	10.67%

リスク・アセット、連結普通株式等Tier 1比率[3]

リスク・アセットの変動[2]



1. 調整後レバレッジは、総資産の額から売現金等付貸入有価証券および借入有価証券担保金の額を控除した額を、当社株主資本の額で除して得られる比率
2. 2023年3月末は暫定数値
3. 連結普通株式等Tier 1比率: Tier 1資本から、その他Tier1資本を控除し、リスク・アセットで除したもの
4. Tier 1資本を、エクスポージャー額(オンバランス項目+オフバランス項目)で除したもの
5. 四半期の日次平均の値

15

左下のテーブルにあるTier 1資本は3.2兆円と、12月末から430億円ほど減少、またリスク・アセットも17.4兆円と、12月末から5,500億円ほど減少した結果、3月末の普通株式等Tier 1比率は16.2%となりました。
右下のウォーターフォールでリスク・アセットの変動要因をご覧いただけますが、クレジット・リスクが約1,900億円の増加、オペレーショナル・リスクも約1,000億円の増加となる一方で、マーケット・リスクは在庫やトレーディング・ポジションの変化、円高の進行などで約8,400億円減少しております。

以上、第4四半期決算についてご説明申し上げました。

最後になりますが、この一年を振り返ってみると、営業部門は残高拡大への取り組みが功を奏し、ストック収入費用カバー率が51%に上昇、インベストメント・マネジメント部門でも野村證券チャネル、銀行等チャネル、そしてDC専用投信にトータルで7,800億円の資金が流入し、我々が注力する広義アセットマネジメント・ビジネスで、進捗を確認することが出来ました。

ホールセール部門では、発行体によるエクイティ調達やM&Aが世界的にスローダウンし、インベストメント・バンキングにとって非常に厳しい環境でしたが、金利や為替等のマクロ・ビジネスでは、特に上半期において、ボラティリティの上昇と顧客フローの増加を収益に結び付けることができ、ポートフォリオの分散効果は、一定程度、発揮できたと思います。

もちろん、この業績にはまったく満足していません。
4月足元も、不透明な市場環境が続き、営業部門は1月、2月並みの収益水準となっていますが、この3月に発表した人事配置転換で、お客様のニーズと当社のリソースを最適配置する体制整備は、ほぼ完了しております。山陰合同銀行様、阿波銀行様との包括的提携は、当初想定を上回るシナジーが確認できており、3件目となる大分銀行様とのアライアンスも、3月27日にスタートしました。ここから、新たに強化された体制、そしてアライアンス等の取り組みを通じて、お客様との対話機会をさらに増やし、収益機会の最大化に努めてまいります。

ホールセール部門では、ポートフォリオのリバランスや利回りに対するニーズで、4月足元は、日本とアジアの金利プロダクトやクレジットは好調ですが、株式や為替/エマージングは顧客フローやボラティリティが低調で、部門全体としてスローな出だしとなっています。根強いインフレ懸念や地政学リスクなど、まだ予断を許さない状況ですが、「金利のある時代」へのシフトやグローバルな緊張は、資金調達やサプライチェーンの見直しに対する投資ニーズなど、新たなビジネス機会に繋がる可能性もあります。インフレや金利環境の見通しが明らかになってくれば、世界的に止まっていたオリジネーション案件も動き出すでしょう。マクロ環境や市場の動きを注視しつつ、こうした収益機会をしっかりと捉えて行きたいと思っています。

引き続き、どうぞ宜しくお願いいたします。

NOMURA

Financial Supplement

バランス・シート関連データ

NOMURA

連結貸借対照表

(10億円)

	2022年 3月末	2023年 3月末	前期比 増減
資産			
現金・預金	4,064	**4,521**	458
貸付金および受取債権	5,001	**5,207**	206
担保付契約	16,876	**18,117**	1,241
トレーディング資産および プライベートエクイティ・デット投資[1]	15,296	**17,609**	2,313
その他の資産[1]	2,175	**2,317**	141
資産合計	43,412	**47,772**	4,360

	2022年 3月末	2023年 3月末	前期比 増減
負債			
短期借入	1,050	**1,009**	-42
支払債務および受入預金	4,920	**5,297**	377
担保付調達	14,538	**16,109**	1,571
トレーディング負債	9,652	**10,558**	906
その他の負債	1,020	**1,176**	155
長期借入	9,258	**10,399**	1,141
負債合計	40,439	**44,548**	4,108
資本			
当社株主資本合計	2,915	**3,149**	234
非支配持分	58	**76**	17
負債および資本合計	43,412	**47,772**	4,360

1. 担保付入金銀行預金を含む

バリュー・アット・リスク

NOMURA

- VaRの前提
  - 信頼区間 ： 95%
  - 保有期間 ： 1日
  - 商品の価格変動等を考慮

- VaRの実績(10億円)
  - 期間 ： 2022.4.1～2023.3.31
  - 最大 ： 6.8
  - 最小 ： 2.7
  - 平均 ： 4.8

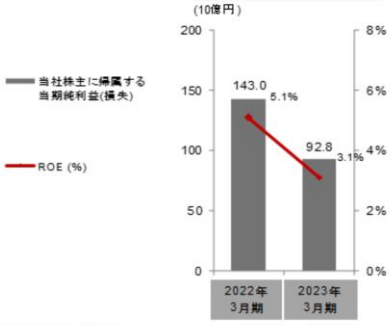
(10億円)

	2022年3月期	2023年3月期	2022年3月期	2023年3月期			
	3月末	3月末	3月末	6月末	9月末	12月末	3月末
株式関連	1.4	**3.3**	1.4	1.7	2.4	3.5	**3.3**
金利関連	2.3	**4.7**	2.3	4.8	3.7	4.0	**4.7**
為替関連	0.9	**1.4**	0.9	1.8	1.6	1.8	**1.4**
小計	4.6	**9.4**	4.6	8.4	7.7	9.3	**9.4**
分散効果	-1.9	**-3.3**	-1.9	-3.4	-2.8	-3.7	**-3.3**
連結VaR	2.7	**6.2**	2.7	5.0	4.9	5.6	**6.2**

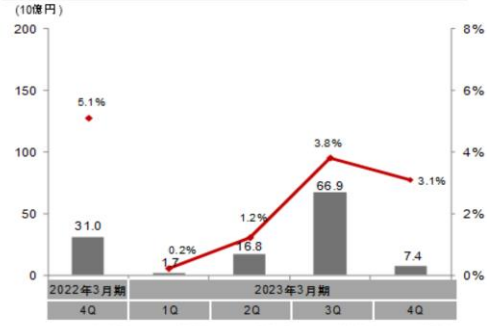
連結決算概要

NOMURA

通期



四半期



	通期 2022年3月期	通期 2023年3月期	四半期 2022年3月期 4Q	四半期 2023年3月期 1Q	四半期 2023年3月期 2Q	四半期 2023年3月期 3Q	四半期 2023年3月期 4Q
収益合計(金融費用控除後)	1,363.9	**1,335.6**	340.8	299.0	318.0	393.7	**324.9**
税引前当期純利益(損失)	226.6	**149.5**	49.5	11.7	31.5	83.6	**22.7**
当社株主に帰属する当期純利益(損失)	143.0	**92.8**	31.0	1.7	16.8	66.9	**7.4**
当社株主資本合計	2,914.6	**3,148.6**	2,914.6	3,055.5	3,163.0	3,138.8	**3,148.6**
ROE(%)[1]	5.1%	**3.1%**	5.1%	0.2%	1.2%	3.8%	**3.1%**
1株当たり当社株主に帰属する当期純利益(損失)(円)	46.68	**30.86**	10.26	0.56	5.59	22.30	**2.46**
希薄化後1株当たり当社株主に帰属する当期純利益(損失)(円)	45.23	**29.74**	9.89	0.52	5.41	21.51	**2.34**
1株当たり株主資本(円)	965.80	**1,048.24**	965.80	1,017.18	1,053.91	1,045.65	**1,048.24**

1. *四半期のROEは、各決算期累計の当期純利益を年率換算して算出*

連結損益

NOMURA

(10億円)	通期		四半期				
	2022年3月期	2023年3月期	2022年3月期	2023年3月期			
			4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
収益							
委託・投信募集手数料	332.3	**279.9**	75.2	70.4	68.2	77.5	**63.8**
投資銀行業務手数料	149.6	**113.2**	34.0	27.3	24.2	33.8	**28.0**
アセットマネジメント業務手数料	270.0	**271.7**	68.9	68.3	69.0	67.0	**67.4**
トレーディング損益	368.8	**563.3**	118.9	141.9	160.9	142.1	**118.3**
プライベートエクイティ・デット投資関連損益	30.8	**14.5**	-0.3	-4.5	5.7	8.1	**5.3**
金融収益	284.2	**1,114.7**	67.1	109.0	196.9	373.3	**435.5**
投資持分証券関連損益	5.4	**-1.4**	2.5	-1.7	-1.5	0.6	**1.2**
その他	152.8	**130.9**	39.6	-0.7	10.5	69.8	**51.4**
収益合計	1,594.0	**2,486.7**	405.9	410.0	533.9	772.2	**770.7**
金融費用	230.1	**1,151.1**	65.1	110.9	215.9	378.6	**445.7**
収益合計(金融費用控除後)	1,363.9	**1,335.6**	340.8	299.0	318.0	393.7	**324.9**
金融費用以外の費用	1,137.3	**1,186.1**	291.3	287.3	286.5	310.1	**302.2**
税引前当期純利益(損失)	226.6	**149.5**	49.5	11.7	31.5	83.6	**22.7**
当社株主に帰属する当期純利益(損失)	143.0	**92.8**	31.0	1.7	16.8	66.9	**7.4**

連結決算：主な収益の内訳

NOMURA

	(10億円)	通期		四半期				
		2022年3月期	2023年3月期	2022年3月期	2023年3月期			
				4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
委託・投信募集手数料	委託手数料-株式	236.4	**190.8**	53.1	48.4	48.5	52.6	**41.3**
	委託手数料-株式以外	18.0	**17.9**	5.5	4.8	4.7	4.3	**4.0**
	投信募集手数料	43.7	**30.3**	6.5	7.5	6.4	8.3	**8.0**
	その他手数料	34.3	**41.0**	10.1	9.7	8.6	12.2	**10.4**
	合計	332.3	**279.9**	75.2	70.4	68.2	77.5	**63.8**
投資銀行業務手数料	株式	33.1	**18.9**	3.1	3.7	1.6	8.1	**5.4**
	債券	29.8	**21.1**	6.3	6.7	4.5	4.5	**5.4**
	M&A・財務コンサルティングフィー	64.2	**53.9**	20.0	14.0	14.3	14.3	**11.3**
	その他	22.4	**19.3**	4.6	2.8	3.8	6.9	**5.7**
	合計	149.6	**113.2**	34.0	27.3	24.2	33.8	**28.0**
アセットマネジメント業務手数料	アセットマネジメントフィー	171.1	**171.3**	44.4	43.7	43.2	41.8	**42.6**
	アセット残高報酬	79.6	**76.2**	19.5	19.0	19.6	19.0	**18.6**
	カストディアルフィー	19.4	**24.2**	4.9	5.6	6.2	6.2	**6.2**
	合計	270.0	**271.7**	68.9	68.3	69.0	67.0	**67.4**

連結決算：セグメント情報と地域別情報　税前利益(損失)

NOMURA

連結決算数値とセグメント数値間の調整：税前利益(損失)

(10億円)	通期 2022年3月期	通期 2023年3月期	四半期 2022年3月期 4Q	四半期 2023年3月期 1Q	2023年3月期 2Q	2023年3月期 3Q	2023年3月期 4Q
営業部門	59.2	**33.5**	5.2	4.9	5.5	13.3	**9.8**
インベストメント・マネジメント部門	71.5	**43.5**	-8.8	-11.7	5.6	33.3	**16.4**
ホールセール部門	74.5	**29.4**	37.0	25.3	20.2	-1.9	**-14.2**
3セグメント合計税前利益	205.2	**106.4**	33.5	18.5	31.2	44.7	**11.9**
その他	15.8	**73.4**	14.9	-3.9	2.1	59.5	**15.7**
セグメント合計税前利益	221.0	**179.7**	48.4	14.6	33.3	104.3	**27.6**
営業目的で保有する投資持分証券の評価損益	5.6	**-30.3**	1.2	-2.8	-1.8	-20.7	**-4.9**
税前利益(損失)	226.6	**149.5**	49.5	11.7	31.5	83.6	**22.7**

地域別情報：税前利益(損失)[1]

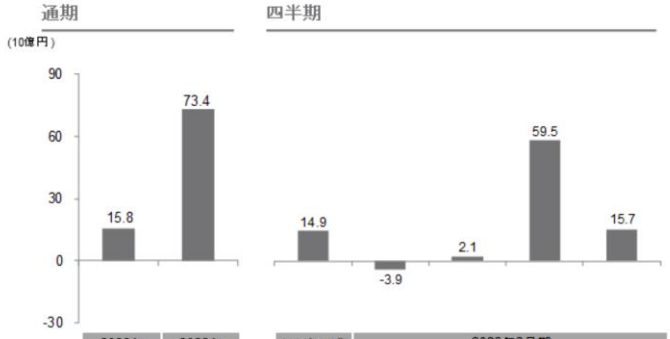
(10億円)	通期 2022年3月期	通期 2023年3月期	四半期 2022年3月期 4Q	四半期 2023年3月期 1Q	2023年3月期 2Q	2023年3月期 3Q	2023年3月期 4Q
米　州	-41.0	**-51.7**	-19.4	-21.6	-21.4	7.9	**-16.6**
欧　州	-21.8	**9.2**	-4.2	-1.9	6.4	8.3	**-3.6**
アジア・オセアニア	28.6	**31.0**	3.9	8.3	15.6	-1.7	**8.7**
海外合計	-34.1	**-11.5**	-19.7	-15.2	0.6	14.6	**-11.5**
日本	260.8	**161.0**	69.2	26.9	30.9	69.0	**34.2**
税前利益(損失)	226.6	**149.5**	49.5	11.7	31.5	83.6	**22.7**

1. *米国会計原則に基づく地域別情報を記載（但し当期4半期の数値は速報値）。米国会計原則に基づく地域別情報は、その収益および費用の各地域への配分が原則として役務の提供される法的主体の所在国に基づき行われており、当社において経営管理目的で用いられているものではありません*

セグメント「その他」

NOMURA

税前利益(損失)



	2022年3月期	2023年3月期	2022年3月期 4Q	2023年3月期 1Q	2023年3月期 2Q	2023年3月期 3Q	2023年3月期 4Q
経済的ヘッジ取引に関連する損益	-9.9	**-4.8**	-8.4	-9.8	0.1	-1.5	**6.3**
営業目的で保有する投資持分証券の実現損益	1.4	**28.4**	1.1	0.2	0.1	21.9	**6.2**
関連会社損益の持分額	36.8	**47.7**	16.2	17.0	9.1	8.9	**12.7**
本社勘定	-91.1	**-12.6**	-34.4	-6.0	4.5	-3.3	**-7.8**
その他	78.6	**14.7**	40.4	-5.3	-11.7	33.5	**-1.8**
税前利益(損失)	15.8	**73.4**	14.9	-3.9	2.1	59.5	**15.7**

営業部門関連データ(1)

NOMURA

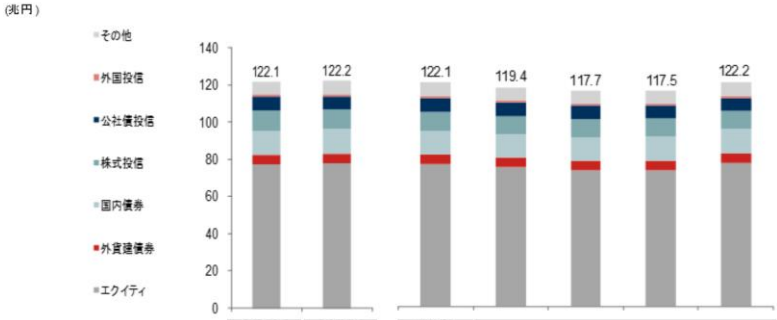
(10億円)	通期		四半期						
	2022年3月期	2023年3月期	2022年3月期 4Q	2023年3月期 1Q	2023年3月期 2Q	2023年3月期 3Q	2023年3月期 4Q	前四半期比	前年同期比
委託・投信募集手数料	138.5	**112.5**	27.8	26.0	26.2	31.2	**29.1**	**-6.7%**	**4.6%**
うち株式委託手数料	67.4	**50.9**	14.4	11.8	12.2	13.4	**13.4**	**0.3%**	**-6.9%**
うち投資信託募集手数料	43.5	**30.2**	6.5	7.5	6.4	8.3	**8.0**	**-3.6%**	**23.6%**
販売報酬	44.0	**44.2**	9.1	10.4	10.9	12.2	**10.6**	**-13.2%**	**16.4%**
投資銀行業務手数料等	19.0	**16.2**	2.8	3.5	3.2	5.2	**4.2**	**-19.1%**	**54.0%**
投資信託残高報酬等	109.3	**108.1**	26.4	26.8	27.6	27.1	**26.6**	**-1.8%**	**0.7%**
純金融収益等	17.2	**19.3**	4.4	4.7	4.5	5.3	**4.8**	**-9.7%**	**9.0%**
収益合計(金融費用控除後)	328.0	**300.2**	70.5	71.4	72.5	81.0	**75.3**	**-7.1%**	**6.9%**
金融費用以外の費用	268.7	**266.7**	65.3	66.5	67.0	67.8	**65.5**	**-3.4%**	**0.3%**
税前利益	59.2	**33.5**	5.2	4.9	5.5	13.3	**9.8**	**-25.9%**	**89.1%**
国内投信販売金額[1]	2,197.0	**2,111.0**	425.7	506.3	479.6	647.1	**478.0**	**-26.1%**	**12.3%**
株式投信	1,931.5	**1,560.3**	335.1	374.8	351.0	438.3	**396.2**	**-9.6%**	**18.3%**
外国投信	265.5	**550.7**	90.7	131.5	128.6	208.8	**81.8**	**-60.8%**	**-9.8%**
その他									
年金保険契約累計額(期末)	3,818.9	**4,147.5**	3,818.9	3,874.7	3,945.4	4,068.5	**4,147.5**	**1.9%**	**8.6%**
個人向け国債販売額(約定ベース)	618.6	**526.2**	177.8	167.7	93.7	111.4	**153.4**	**37.7%**	**-13.7%**
リテール外債販売額	643.0	**949.6**	100.6	160.8	279.6	239.5	**269.7**	**12.6%**	**168.0%**

1. *旧ホット&コールを含む*

営業部門関連データ(2)

NOMURA

営業部門顧客資産残高



	2022年3月期 3月末	2023年3月期 3月末	2022年3月期 3月末	2023年3月期 6月末	2023年3月期 9月末	2023年3月期 12月末	2023年3月期 3月末
エクイティ	77.5	**78.0**	77.5	75.7	74.0	74.4	**78.0**
外貨建債券	5.1	**5.3**	5.1	5.3	5.4	5.2	**5.3**
国内債券[1]	12.6	**13.2**	12.6	12.7	12.9	12.9	**13.2**
株式投信	10.8	**10.2**	10.8	10.0	9.8	9.7	**10.2**
公社債投信	7.5	**6.8**	7.5	7.4	7.2	7.1	**6.8**
外国投信	1.3	**1.2**	1.3	1.3	1.2	1.2	**1.2**
その他[2]	7.3	**7.5**	7.3	7.1	7.2	7.0	**7.5**
合計	122.1	**122.2**	122.1	119.4	117.7	117.5	**122.2**

1. CB・ワラントを含む　2. 年金保険契約資産残高を含む

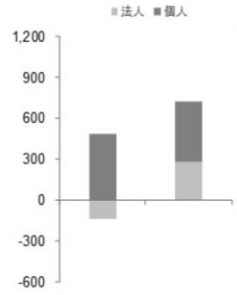
営業部門関連データ(3)

NOMURA

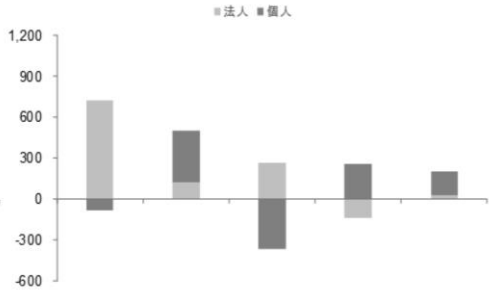
現金本券差引[1]

（10億円）

通期



四半期



	2022年 3月期	2023年3月期
法人[2]	-136	**282**
個人[3]	488	**438**
合計	351	**720**
入金預り[4]	4,180	**4,057**

	2022年3月期	2023年3月期			
	4Q	1Q	2Q	3Q[5]	4Q
法人[2]	722	125	267	-137	**27**
個人[3]	-82	376	-369	259	**173**
合計	641	500	-102	122	**200**
入金預り[4]	901	1,062	921	1,010	**1,064**

1. 現金および本券の投入から投出を差引
2. 法人顧（地域金融顧客を除く）、国内のウェルス・マネジメント・グループを含む
3. リテールチャネル、ネット&コール、仲介、銀証、ほっとダイレクトを含む
4. リテールチャネルのみ対象
5. 2023年3月期3Qの数字を修正

営業部門関連データ(4)

NOMURA

口座数

(千口座)	2022年3月期 3月末	2023年3月期 3月末	2022年3月期 3月末	2023年3月期 6月末	2023年3月期 9月末	2023年3月期 12月末	2023年3月期 3月末
残あり顧客口座数	5,348	**5,353**	5,348	5,354	5,359	5,352	**5,353**
株式保有口座数	2,955	**2,963**	2,955	2,958	2,957	2,950	**2,963**
NISA開設口座数(累計)[1]	1,589	**1,632**	1,589	1,598	1,609	1,625	**1,632**
オンラインサービス口座数	5,067	**5,208**	5,067	5,102	5,136	5,173	**5,208**

個人新規開設口座数・IT比率[2]

(千口座)	通期 2022年3月期	通期 2023年3月期	四半期 2022年3月期 4Q	四半期 2023年3月期 1Q	四半期 2023年3月期 2Q	四半期 2023年3月期 3Q	四半期 2023年3月期 4Q
個人新規開設口座数	201	**199**	49	48	48	48	**55**
IT比率[2]							
売買件数ベース	83%	**85%**	85%	85%	86%	84%	**85%**
売買金額ベース	59%	**59%**	60%	59%	60%	58%	**59%**

1. ジュニアNISAを含む
2. 顧客様のうち、オンラインサービスを通じて売買された割合

インベストメント・マネジメント部門関連データ(1)

NOMURA

(10億円)

	通期		四半期						
	2022年3月期	2023年3月期	2022年3月期 4Q	2023年3月期 1Q	2023年3月期 2Q	2023年3月期 3Q	2023年3月期 4Q	前四半期比	前年同期比
事業収益	119.9	**120.7**	31.1	30.7	29.9	31.4	**28.7**	**-8.4%**	**-7.7%**
投資損益	28.1	**7.9**	-21.1	-23.1	-3.7	25.6	**9.1**	**-64.5%**	-
収益合計(金融費用控除後)	148.0	**128.6**	10.1	7.6	26.2	57.0	**37.8**	**-33.6%**	**3.8x**
金融費用以外の費用	76.5	**85.1**	18.9	19.3	20.6	23.7	**21.5**	**-9.2%**	**14.0%**
税前利益(損失)	71.5	**43.5**	-8.8	-11.7	5.6	33.3	**16.4**	**-50.9%**	-

運用資産残高 – 会社別

(兆円)

	2022年3月期 3月末	2023年3月期 3月末	2022年3月期 3月末	2023年3月期 6月末	2023年3月期 9月末	2023年3月期 12月末	2023年3月期 3月末
野村アセットマネジメント	69.6	**69.1**	69.6	67.4	66.6	66.5	**69.1**
ノムラ・コーポレート・リサーチ・アンド・アセット・マネジメント他	3.9	**3.9**	3.9	3.7	3.9	3.8	**3.9**
運用資産残高(グロス)[1]	73.5	**73.0**	73.5	71.1	70.5	70.2	**73.0**
グループ会社間の重複資産	5.5	**5.7**	5.5	5.5	5.7	5.6	**5.7**
運用資産残高(ネット)[2]	67.9	**67.3**	67.9	65.6	64.8	64.7	**67.3**

1. *運用資産残高は、野村アセットマネジメント、ノムラ・コーポレート・リサーチ・アンド・アセット・マネジメント、ウエルス・スクエアの運用資産及びに野村スパークス・インベストメント、野村メザニン・パートナーズ、野村キャピタル・パートナーズ及び野村リサーチ・アンド・アドバイザリーに対する第三者による投資額の合計を含む*
2. *運用資産残高(グロス)から重複資産控除後*

インベストメント・マネジメント部門関連データ(2)

NOMURA

インベストメント・マネジメント部門 資金流出入 –ビジネス別[1, 2]

(10億円)	通期 2022年3月期	通期 2023年3月期	四半期 2022年3月期 4Q	四半期 2023年3月期 1Q	2023年3月期 2Q	2023年3月期 3Q	2023年3月期 4Q
投資信託ビジネス	1,236	**156**	372	478	137	-100	**-358**
うちETF	683	**-250**	383	323	-5	-347	**-221**
投資顧問・海外ビジネス他	830	**-916**	-180	-928	89	57	**-134**
資金流出入 合計	2,066	**-760**	193	-450	226	-44	**-492**

国内公募投信残高推移と野村アセットマネジメントのシェア[3]

(兆円)	2022年3月期 3月末	2023年3月期 3月末	2022年3月期 3月末	2023年3月期 6月末	2023年3月期 9月末	2023年3月期 12月末	2023年3月期 3月末
国内公募投信残高							
マーケット	163.1	**166.2**	163.1	156.7	155.0	157.2	**166.2**
野村アセットマネジメントシェア	27%	**27%**	27%	27%	27%	27%	**27%**
国内公募株式投信残高							
マーケット	148.9	**152.2**	148.9	142.3	140.9	142.7	**152.2**
野村アセットマネジメントシェア	25%	**25%**	25%	26%	25%	25%	**25%**
国内公募公社債投信残高							
マーケット	14.2	**13.9**	14.2	14.3	14.1	14.5	**13.9**
野村アセットマネジメントシェア	44%	**44%**	44%	44%	44%	44%	**44%**
ETF残高							
マーケット	61.8	**63.3**	61.8	59.6	57.9	59.2	**63.3**
野村アセットマネジメントシェア	44%	**44%**	44%	44%	44%	44%	**44%**

1. 運用資産残高(ネット)に基づく資金流出入　2. 2023年3月期1Qに運用資産残高及び資金流出入の算定方法を見直したことに伴い、過年度の数値を組み替えて表示　3. 出所:投資信託協会

ホールセール部門関連データ

NOMURA

(10億円)	通期 2022年3月期	通期 2023年3月期	四半期 2022年3月期 4Q	2023年3月期 1Q	2023年3月期 2Q	2023年3月期 3Q	2023年3月期 4Q	前四半期比	前年同期比
収益合計(金融費用控除後)	703.1	**772.4**	194.9	199.0	205.5	189.1	**178.8**	**-5.4%**	**-8.2%**
金融費用以外の費用	628.6	**743.0**	157.9	173.7	185.3	190.9	**193.1**	**1.1%**	**22.3%**
税前利益(損失)	74.5	**29.4**	37.0	25.3	20.2	-1.9	**-14.2**	-	-

ホールセール部門 収益の内訳

(10億円)	通期 2022年3月期	通期 2023年3月期	四半期 2022年3月期 4Q	2023年3月期 1Q	2023年3月期 2Q	2023年3月期 3Q	2023年3月期 4Q	前四半期比	前年同期比
フィクスト・インカム	326.9	**402.4**	80.1	112.6	115.6	86.7	**87.5**	**0.9%**	**9.3%**
エクイティ	229.5	**253.9**	78.1	62.6	61.9	67.5	**61.8**	**-8.5%**	**-20.9%**
グローバル・マーケッツ	556.4	**656.3**	158.2	175.3	177.5	154.3	**149.3**	**-3.2%**	**-5.6%**
インベストメント・バンキング	146.6	**116.1**	36.7	23.7	28.0	34.8	**29.6**	**-15.1%**	**-19.6%**
収益合計(金融費用控除後)	703.1	**772.4**	194.9	199.0	205.5	189.1	**178.8**	**-5.4%**	**-8.2%**

人員数

	2022年3月期 3月末	2023年3月期 3月末	2022年3月期 3月末	2023年3月期 6月末	2023年3月期 9月末	2023年3月期 12月末	2023年3月期 3月末
日本	15,213	**15,131**	15,213	15,503	15,384	15,282	**15,131**
欧州	2,820	**2,937**	2,820	2,811	2,869	2,908	**2,937**
米州	2,257	**2,387**	2,257	2,252	2,358	2,392	**2,387**
アジア・オセアニア[1]	6,295	**6,320**	6,295	6,407	6,520	6,634	**6,320**
合計	26,585	**26,775**	26,585	26,973	27,131	27,216	**26,775**

1. インド(ボワイ・オフィス)を含む

Disclaimer

本資料は、野村ホールディングス株式会社が、米国会計基準による2023年3月期第4四半期に関する情報の提供を目的として作成したものです。

本資料は、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的として作成されたものではありません。売付または買付の勧誘は、それぞれの国・地域の法令諸規則等に則って作成・配布される募集関連書類または目論見書に基づいて行われます。

本資料に掲載されている情報や意見は、信頼できると考えられる情報源より取得したものですが、その情報の正確性及び完全性を保証または約束するものではありません。なお、本資料で使用するデータ及び表現等の欠落、誤謬、本情報の使用により引き起こされる損害等に対する責任は負いかねますのでご了承ください。

本資料の一切の権利は別段の記載がない限り野村ホールディングス株式会社に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、当社の書面による承諾を得ずに複製または転送等を行わないようお願いいたします。

本資料は、将来の予測等に関する情報(「将来予測」)を含む場合があり、また当社の経営陣は将来予測に関する発言を行うことがあります。これらの情報は、過去の事実ではなく、あくまで将来の事象に対する当社の予測にすぎず、その多くは本質的に不確実であり、当社が管理できないものであります。実際の結果や財務状態は、これらの将来予測に示されたものとは、場合によっては著しく異なる可能性があります。したがって、将来予測は、過度に信頼すべきではなく、不確実性やリスク要因をあわせて考慮する必要がある点にご留意ください。実際の結果に影響を与える可能性がある重要なリスク要因としては、経済情勢、市場環境、政治的イベント、投資家のセンチメント、セカンダリー市場の流動性、金利の水準とボラティリティ、為替レート、有価証券の評価、競争の条件と質、取引の回数とタイミング等が含まれるほか、当社ウェブサイト(https://www.nomura.com)、EDINET(https://info.edinet-fsa.go.jp/)または米国証券取引委員会(SEC)ウェブサイト(https://www.sec.gov)に掲載されている有価証券報告書等、SECに提出した様式20-F年次報告書等の当社の各種開示書類にもより詳細な記載がございますので、ご参照ください。

なお、本資料の作成日以降に生じた事情により、将来予測に変更があった場合でも、当社は本資料を改訂する義務を負いかねますのでご了承ください。

本資料に含まれる連結財務情報は、監査対象外とされております。

NOMURA

Nomura Holdings, Inc.
www.nomura.com/jp/